

【参考】三重県立美術館の概要

1 三重県立美術館の沿革

昭和 4 7 (1972) 年 1 1 月 県文化財審議会から「県立美術館の建設について」答申
昭和 5 4 (1979) 年 1 月 県文化財審議会から「県立美術館の基本構想について」承認
昭和 5 5 (1980) 年 3 月 美術館資料選定評価委員会を設置し、作品収集を開始
昭和 5 7 (1982) 年 8 月 三重県立美術館ボランティア「櫂の会」発足
三重県立美術館友の会発足
9 月 三重県立美術館開館（初代館長 陰里鉄郎 就任）
昭和 5 8 (1983) 年 3 月 財団法人三重県立美術館協力会設立
平成 1 4 (2002) 年 1 0 月 開館 2 0 周年増改築工事(平成 1 5 年 1 0 月竣工)
平成 1 5 (2003) 年 1 1 月 リニューアル開館
平成 2 8 (2016) 年 4 月 6 代館長 速水 豊 就任
平成 3 0 (2018) 年 4 月 一部指定管理者制度（施設管理等）導入

2 収蔵品保有状況（令和 4 年 3 月 3 1 日現在）（単位：点）

区 分	購 入	寄 贈	計	寄 託
絵 画	5 7 9	5, 0 4 6	5, 6 2 5	1 4 6
版 画	4 2 6	1 2 0	5 4 6	1 3
彫 刻	1 0 4	1 1 0	2 1 4	4 8
工 芸	4 2	4 6	8 8	0
そ の 他	4 5	3 3 3	3 7 8	6 0
計	1, 1 9 6	5, 6 5 5	6, 8 5 1	2 6 7

3 コレクション

- (1) 江戸時代以降の作品で三重県出身ないし三重にゆかりの深い作家の作品
- (2) 明治時代以降の近代洋画の流れをたどることのできる作品、また日本の近代美術に深い影響を与えた外国の作品
- (3) 作家の創作活動の背景を知ることのできる素描、下絵、水彩画等
- (4) スペイン美術（1992 年スペイン・バレンシア州との友好提携を契機）
主な作品に、曾我蕭白（そがしょうはく）「旧永島家襖絵（きゅうながしまけふすまえ）」、ムリーリョ「アレクサンドリアの聖カタリナ」、モネ「橋から見たアルジャントゥイユの泊地」、シャガール「枝」、佐伯祐三（さえきゆうぞう）「サンタンヌ教会」などがある。

4 開館時間 午前 9 時 3 0 分から午後 5 時まで（入館は午後 4 時 3 0 分まで）

5 休館日 月曜日（ただし祝日・休日の場合は開館、翌日休館）、年末年始（1 2 月 2 9 日から 1 月 3 日まで）

6 組織及び職員の状況（定数12名、現員12名）※は定数外

館長（1）

副館長（1）

総務課（1）主幹兼課長代理（1）主査（1）
（総務事務員1※）

学芸普及課長（1）課長代理（1）主任（4）
学芸員（1）

（教育普及員1※、非常勤学芸員1※）

7 支援団体

(1) 三重県立美術館ボランティア「櫨の会」

美術を愛好する人たちによるボランティア活動を通じて、来館者の案内、学校など各種団体の案内・誘導、身体障がい者の介護などの活動と共に、教養講座の開催や、会員相互の研修活動を行っています。

(2) 三重県立美術館友の会

美術愛好家の集まりで、美術鑑賞と学習を通じて会員相互の教養と親睦を深めるために発足し、作品鑑賞会、美術講演会、ミュージアム・コンサート、県外美術館への鑑賞旅行といった活動を行い、会員の機関紙「Hill Friends」を発刊しています。

(3) 公益財団法人三重県立美術館協力会

美術を愛好する人たちの知識、教養を深める啓蒙活動を行うと同時に、美術館活動を弾力的にすすめるため、展覧会の図録や絵葉書、額絵、美術図書などを製作・頒布するほか、「櫨の会」や友の会に対する助成を行っています。

8 その他

(1) ミュージアムショップ

公益財団法人三重県立美術館協力会が運営するミュージアムショップでは図録、絵葉書、美術関連図書及びオリジナルグッズ等を販売しています。

(2) レストラン（ミュゼ・ボンヴィヴァン）

フランス料理を中心とする席数45席のレストランです。